

ひまわりC a f eの内容が伊勢新聞に掲載されました。

その内容は「Y a h o o ! ニュース」「W A M N E T」にも掲載していただきました。

今後もたくさんの方に伊勢市ひまわりの活動を知っていただけるよう頑張っていきたいと思います。

障害者がカフェスタッフ 伊勢の「ひまわりカフェ」

9/30(火) 8:01 配信



伊勢新聞



【丁寧にコーヒーを入れる障害のあるスタッフ（右）＝伊勢市八日市場町の伊勢市社協福祉センターで】

【伊勢】伊勢市八日市場町の伊勢市社会福祉協議会福祉センターの一階にある「ひまわりCafe」では、障害のあるスタッフが活躍している。注文を受けると、丁寧にコーヒーを入れて提供。来店客とのコミュニケーションを通し、やる気や自信へとつなげている。

スタッフを務めるのは、センター内にある社協の就労支援施設「伊勢市ひまわり」の利用者。施設には、20—60代の20人が在籍し、自主製品の生産活動などを行っている。カフェでの仕事は、その活動の一つ。希望する利用者がコーヒーのドリップの仕方や接客を練習し、店頭に立つ。

カフェはセンター1階ロビーの一角に設けられ、カウンター4席とテーブル4席、テラス席もある。社協が運営し、センター内の児童館や施設を利用する子どもや親子連れ、高齢者、隣接する図書館を訪れる学生など誰でも自由に利用できる。以前は、ボランティアが接客していたが、今年4月、カフェのリニューアルを機に、伊勢市ひまわりの利用者が、職員と共に店員を務めることになった。

カフェのメニューは、コーヒー（ホット・アイス各250円）、カフェオレ（300円）など。「ホットコーヒー2つ」。この日の担当スタッフだった利用者の50代男性は、注文が入ると、一杯一杯ゆっくりと丁寧にハンドドリップでコーヒーを入れ、もてなした。

伊勢市ひまわりの櫻本義寛所長は「利用者は、来店客と接することで、積極的になり、自主性ややる気を感じられるようになった」と話す。「今後、子どもや高齢者、障害者、いろんな立場の人が交わる、福祉拠点となるカフェになっていけば」と話した。

営業時間は、火一金曜の午前10—午後2時半。